

＜売掛債権を活用した融資事例＞

【日本銀行主催金融高度化セミナー説明資料】



平成25年4月24日
北洋銀行 事務統括部

1. 売掛債権の活用を経緯

H17年10月

動産・債権譲渡特例法施行
⇒ 在庫と将来債権を一体で担保取得可能に

H18年1月

売掛債権担保管理システム稼動。(共同開発)

H18年4月

ほくよう売掛債権ローン取扱開始。

H18年6月

海産物を担保としたABLを実行。(在庫のみ担保)

H18年9月

野菜と売掛債権を担保としたABLを開発。
⇒ 新経済成長戦略における第1号モデル事業

売掛債権側
から構築
したモデル

H19年8月

肉用牛と売掛債権を担保としたABLを実行。

失敗事例

2. 売掛債権担保管理システム

システムの概要

- ・売掛債権発生時に顧客から電子データ等で債権明細を受領しシステム登録
- ・入金口座の明細と登録された債権明細をシステムでチェックし消し込み
- ・月次で入金明細や未入金明細、売掛先別入金状況履歴等を支店に還元

システム開発の経緯

- ・システムベンダーから共同開発の提案
- ・売掛債権流動化システムと併せて開発

3. ほくよう売掛債権ローン

ローンの概要

- ・売掛債権担保管理システムを活用
- ・個社別に貸出枠を設定し、掛け目控除後の売掛債権の範囲内で融資

商品開発の経緯

- ・売掛債権を資金調達に活用できることを顧客にアピール
- ・売掛債権担保はひも付き融資が主だったため、貸出枠の商品も必要

4. 野菜と売掛債権を担保としたABL

開発のポイント

- ・ 販売単価を年間契約しており計画生産可能
- ・ 日々の売掛金の合計 \div 年間売上高
 \Rightarrow 計画通り生産できる**仕組み作り**を検討

開発のきっかけ

『**優良取引先の信用**を活用できないか』 ~ **継続購入**してくれることも信用の一面

1 担保の目的 = **事業継続**

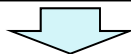
担保処分が必要な場合、
計画通り最後まで**生産を継続**し、予定価格で販売

+

2 保証の目的 = **規律付け**

停止条件による経営者の
モチベーション向上

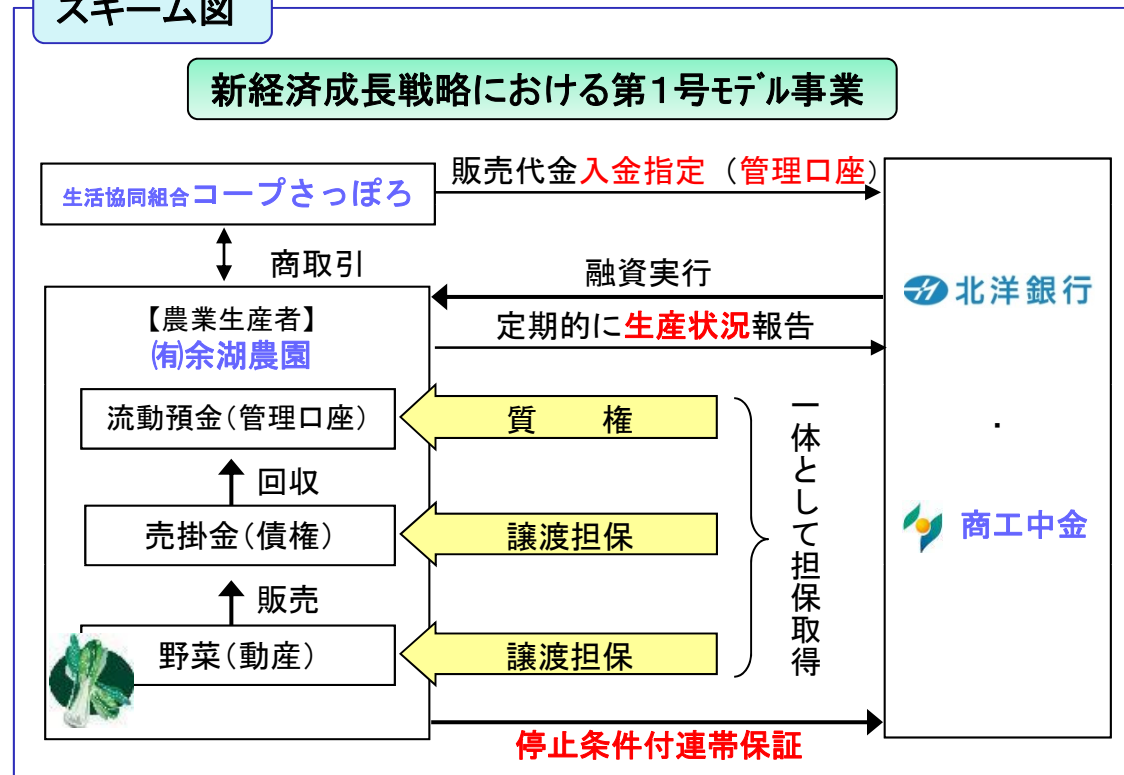
- ・ 虚偽報告禁止
- ・ 品質維持



・ 1+2で、より強固な**仕組み**

・ **事業計画**に基づく融資

スキーム図



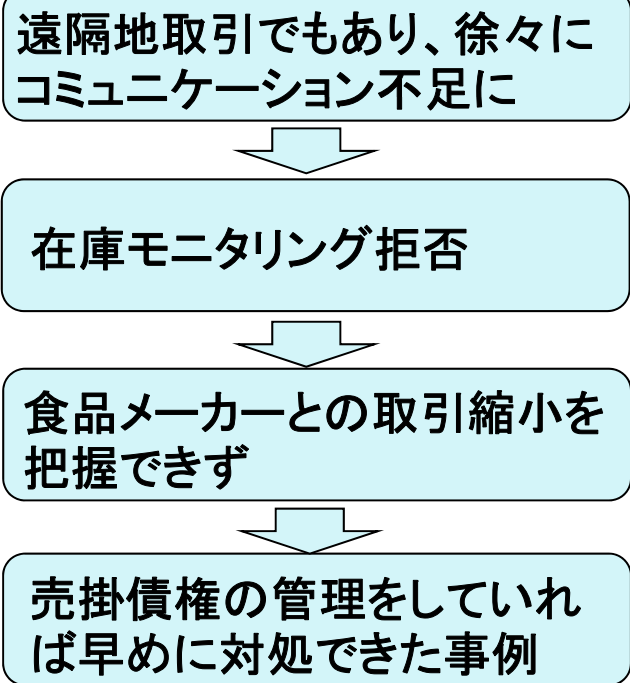
5. 肉用牛と売掛債権を担保としたABL

取組みのポイント

- ・ 食品メーカーから**スポット**で受注ある先
 ~ 同社への販売シェア 2割
- ・ 売掛金と動産に担保権を設定
 ~ 売掛金回収期間が1週間のため**システム管理せず**
- ・ モニタリングは動産中心

取組みのきっかけ

『農協以外の**有力取引先**がある農業者と取引をしたい』



スキーム図

